

衆院選の結果について

予想通りの自公与党の圧勝となったが、アベノミクスの継続によって日本経済の再生を目指す与党の政策を有権者が支持した結果と受け止め、重い責任を自覚して政権運営にあたってもらいたい。

京都では自民党が前回と同じ4選挙区で勝利する結果となった。アベノミクスの継続で、地方創生として地元京都の活力ある創造都市づくりに取り組んでいただきたい。

一方で、低調な投票率となったのは、野党が明確な対抗軸を示すことができず、政策的な議論が盛り上がらなかったからで、次の選挙までに、与党に対峙できる野党再編が必至とみている。

景気を再び回復軌道へと浮揚させ、経済の好循環を生み出すために、まずは「地方創生」をはじめとする成長戦略の具体化と実行を急ぐ必要がある。持続的な成長の実現は、人口減少社会の克服や財政の健全化といった先送りできない課題を解決するためにも不可欠である。

そのためにも、安倍首相には長期の安定した政権運営のもと、力強い政策実行力によって、増税先送りによる財政健全化と社会保障の新たなプランの提示を急ぐとともに、是非とも景気回復の実感や賃上げを地方や中小企業にまで拡大させていただきたい。

特に急速に進行する円安対策として、マイナス影響を受ける中小企業への支援や家計負担の軽減支援、個人消費の押し上げ策など、切れ目のない緊急経済対策の早期実行を強く望みたい。

以 上

平成26年12月15日
京都商工会議所
会頭 立石 義雄